

◇ 新事務局から

一寸したものはすみから一年間事務局をお引き受けすることになった。最近、前事務局との間に無事引き継ぎを終った。結構いろんなことがある。最重要事は会費徴収である。間違いがあるといかないので慎重に台帳の整理をした。この九九号と一緒に七六年度会費の請求のための振替用紙を同封した（辰口の会場で納入された方は除く）ので、よろしく納入方をお願いしたい。そのさい年度をさかのぼっての未納分も個別にお知らせしてあるので、その点にも留意されたい。また、前事務局から懸案の長期未納会員には別途御請求申し上げておいた。こうした請求書を書くのは大変いやである。文言いささか柔らげたつもりであるが、どっちみち請求書は請求書である。受け取られた方は大いに痛に触っておられることであろう。これも会の維持のためからの必要と御寛恕いただきたい。

ところで、新事務局は久々に地方に出た。いろんな面で会員諸氏に不自由をおかけすることになる。できるだけ頑張るつもりであるが、御協力願いたい。研究会は東京で二回、関西で一回、東北で二回程度を予定して、宿題委員の方々と相談して実施したい。

なお、次号は、この『研究通信』の百号である。目下記念号として企画中である。また、年が明けたら会の発起にあたられた方々などに御参集願つての記念座談会をやって見たいとも考えている。

990 山形市小白川町 山形大学人文学部

村落社会研究会

事務局 岩 本 由 輝